



I 学校の教育目標

自学:自ら学び続ける人間の育成

敬愛:自他を敬愛し、社会に貢献できる人間の育成

健康:心身共に健康な人間の育成

※校訓「進取」(自ら進んで物事に取り組むこと)

II 目指す学校像、生徒像、教師像

1 学校像

○ユニバーサルデザインの視点に立った教育を推進し、生徒に確かな学力を身に付けさせる学校

○学校に関係するすべての人が人権を尊重し、生徒に豊かな心と自己肯定感を育む学校

○教職員の資質向上、外部への適切な情報発信、地域・家庭との連携等によって、生徒・保護者・地域から信頼される学校

2 生徒像

○相手を思いやる気持ちと規範意識を身に付け、あいさつができる生徒

○自ら学ぼうとする意欲を身に付け、基礎学力を定着させた生徒

○基本的な生活習慣を身に付け、体力向上をめざす生徒

3 教師像

○生徒の学力向上と健全育成を実現するために、日々研鑽する、指導力の高い教師

○サービスを厳正に遂行し、人権尊重の精神に基づいた指導を行う、信頼される教師

○生徒や保護者の願い・相談等に、迅速かつ親身に対応する誠実な教師

○地域・保護者との関わりを大切にする、コミュニケーション力の高い教師

III 平成31年度の重点目標と目標実現に向けた取組

目標1 生徒の学習意欲を高め、学力を向上させる

■目標実現に向けた取組

(1) 教師の授業力を高める。

○ICT 機器の活用やアクティブ・ラーニングの推進を図るとともに、板橋区リーディングスキルテストを活用した授業改善を図る。

○全教師が教科専門研修に参加したり、校内の他の教師の授業を参観したりすることで、授業力を高めるとともに、生徒の学習意欲を高めるような授業展開を行う。

○以下の板橋区授業スタンダードを全教師が完全実施する。

①今日の授業の目標・ねらいを明示する。

②個人学習、ペア学習、グループ学習等の形態を適切に組み合わせた授業を展開する。

③今日の授業を振り返り、学んだことを言語化する。

(2) サイレントスタディ・学習会等を充実させる。

○週4日、「フィードバック教材」等を活用した放課後の「サイレントスタディ」を実施し、基礎学力の定着を目指すとともに、自学の習慣と方法を身に付けさせる。

○週2回、放課後に「志三中学学習会」を実施する。定期考査前には回数を増やす。また、夏季学力補充教室を充実させる。

(3) 家庭学習の習慣化を図る。

○サイレントスタディを活用した取組を組織的に行うことで、家庭学習の習慣化と学習意欲の向上を図る。

(4) 板橋区の小中一貫教育の視点から、異校種間の連携を強め、生徒の学びの連続を図る。

○学びの連続を意識した授業展開と改善を行い、学力面でのつまずきをなくす。

○教師は、特別支援教育を意識しながら、9年間を見通した指導ができるような研修に努める。

目標2 豊かな心と健やかな体を育む

■目標実現に向けた取組

(1) 人権と生命を尊重し、相手を思いやる心を育む。

○道徳の授業を始めとするすべての教育活動、行事等を通して、生徒に豊かな心と、他者に対する思いやりの心情を育む。

○人権作文や人権講演会を実施する。

○あいさつ運動や日常的な指導により、自分からあいさつをしようとする心情と、行動力を育てる。

(2) いじめに対しては迅速で適切な指導と対応を行うとともに、不登校生徒の減少を目指す。

○「志村三中いじめ防止基本方針」に基づき、日常的なきめ細かい生徒観察や「いじめアンケート」等の方法により、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努める。また、生徒会を中心としたいじめ防止の取組を進める。

○スクールカウンセラーや外部機関等と適切に連携しながら、不登校生徒と保護者に寄り添った指導・対応を組織的に推進し、一人でも多くの生徒が学校復帰を果たすように努める。

(3) 好ましい友人関係を築かせながら、自己肯定感の得られる学級作りを行う。

○全教師がQ-Uの結果を活用し、生徒理解と生徒指導に生かす。また、Q-Uに対する生徒・保護者の理解を進める。

(4) 体力向上を図る。

○新体力テストの結果を基に「一校一取組」を掲げるとともに、保健体育の授業を中心に継続的に体力向上に向けた取組を行う。

目標3 教職員の資質向上を図るとともに、地域に信頼される学校をつくる

■目標実現に向けた取組

(1) コミュニティスクール制度を活用・推進し、地域の人々や保護者と連携し、教育を推進する。

○コミュニティスクール準備委員会の意見を尊重し、地域の人々との協働で学校を運営していく。

○授業や講演会、学校行事等において、また、日常的に地域や保護者との連携を深める。

(2) 安全で、信頼される学校をつくる。

○食物アレルギー事故を始めとする学校事故の未然防止と、万が一発生した際の初期対応についての研修を行い、安全・安心で、信頼される学校をつくる。

(3) 適切に情報を発信する。

○ホームページを適時更新し、新しい情報を提供する。

(4) 教職員はサービスを厳守し、教育活動を推進する。

○月に1回以上、サービスに関する研修と点検を実施するとともに、サービスの厳守について、年2回以上、管理職による面接指導を行うことにより、サービス事故のない学校作りを行う。

(5) 組織力の強い学校をつくる。

○職員間の報告・連絡・相談・確認と記録を確実にし、迅速な情報共有に努める。

(6) 学びのエリア小中連携教育の推進

○学びのエリア内の小学校と連携した教育活動を行い、「地域の子どもは地域で育てる」という理念を、小学校・地域と共有する。また、出前授業を実施したり、行事等での連携を進めたりすることで、児童・生徒間の交流を深めるとともに、教職員間の共通理解と情報共有を推進する。